

令和7年度 いじめ防止プログラム(年間指導計画)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学校行事	○入学式 ○対面式 ○家庭学習週	○生徒総会 ○運動会	○期末考査 ○近隣小学校 中学校訪問	○面談		○移動教室 ○修学旅行	○中間考査 ○合唱祭	○期末考査 ○面談 ○職場体験	○面談 ○人権週間 ○家庭学習週間	○推薦入試	○私立・都立入試 ○家庭学習週間	○学芸発表会
学級活動	いじめは卑劣 いじめ撲滅への宣言											
特別活動	学級開き 学級のルール作り 留意事項 いじめのない学校づくりのために生徒自らその重要性に気づき考え行動できる仕掛けを数多く提供する											
道徳	自分の良さを再確認しよう											
総合的な学習の時間	「進級・入学に際して」本校で良かったという実感をもた											
各教科	「補充教室」勉強がわかることで自己有用感をもたせる											
生徒指導	いじめ認知アンケート 各学期1回											
家庭・地域との連携	いじめ根絶宣言 保護者への啓発											
キャリア教育	「生徒会としての方向性を考えさせる」 いじめは絶対許さない！傍観者でない！皆で撲滅宣言！											

いじめは卑劣
いじめ撲滅への宣言

学級開き 学級のルール作り
留意事項 いじめのない学校づくりのために生徒自らその重要性に気づき考え行動できる仕掛けを数多く提供する

自分の良さを再確認しよう

主として自分自身に関すること
自分の良さを再確認しよう

「進級・入学に際して」本校で良かったという実感をもた

「補充教室」勉強がわかることで自己有用感をもたせる

いじめ認知アンケート
各学期1回

いじめ根絶宣言
保護者への啓発

「いじめのない学校づくり」
いじめは、いじめる側が絶対に悪い 多くのいじめは休憩時間等
に起こる学級委員会を中心に皆の
目で見守り、いじめのない学校
に！

「いじめのない社会を作るために」
学級活動や部活動等で生徒の主役
となる場面の設定！

「友達の良さやありがたさを学ぼう」
友達とふれあうことで互いの良さを
認め、健全な精神をもった人にな
るよう指導していく

「補充教室」勉強がわかることで自己有用感をもたせる

生活アンケート
1回目

「いじめは卑劣」
人権週間と関わりを持
たせて、生徒会主体で
の取組をさせる

「いじめられたとき、目
撃したときにすべきこと」
他者の存在を認め互い
を信頼し合い、協力し
あってより良い学校を創

「卒業・進級に向けて」
本校で良かったという実感をもたせる

「補充教室」勉強がわかることで自己有用感をもたせる

生活アンケート
2回目

継続事業の検証
次年度への手立て

「いじめは卑劣」
人権週間と関わりを持
たせて、生徒会主体で
の取組をさせる

「いじめられたとき、目
撃したときにすべきこと」
他者の存在を認め互い
を信頼し合い、協力し
あってより良い学校を創

「卒業・進級に向けて」
本校で良かったという実感をもたせる

「補充教室」勉強がわかることで自己有用感をもたせる

生活アンケート
2回目

継続事業の検証
次年度への手立て

「いじめは卑劣」
人権週間と関わりを持
たせて、生徒会主体で
の取組をさせる

「いじめられたとき、目
撃したときにすべきこと」
他者の存在を認め互い
を信頼し合い、協力し
あってより良い学校を創

「卒業・進級に向けて」
本校で良かったという実感をもたせる

「補充教室」勉強がわかることで自己有用感をもたせる

生活アンケート
2回目

継続事業の検証
次年度への手立て

「いじめは卑劣」
人権週間と関わりを持
たせて、生徒会主体で
の取組をさせる

「いじめられたとき、目
撃したときにすべきこと」
他者の存在を認め互い
を信頼し合い、協力し
あってより良い学校を創

「卒業・進級に向けて」
本校で良かったという実感をもたせる

「補充教室」勉強がわかることで自己有用感をもたせる

生活アンケート
2回目

継続事業の検証
次年度への手立て

「いじめは卑劣」
人権週間と関わりを持
たせて、生徒会主体で
の取組をさせる

「いじめられたとき、目
撃したときにすべきこと」
他者の存在を認め互い
を信頼し合い、協力し
あってより良い学校を創

「卒業・進級に向けて」
本校で良かったという実感をもたせる

「補充教室」勉強がわかることで自己有用感をもたせる

生活アンケート
2回目

継続事業の検証
次年度への手立て

「いじめは卑劣」
人権週間と関わりを持
たせて、生徒会主体で
の取組をさせる

「いじめられたとき、目
撃したときにすべきこと」
他者の存在を認め互い
を信頼し合い、協力し
あってより良い学校を創

「卒業・進級に向けて」
本校で良かったという実感をもたせる

「補充教室」勉強がわかることで自己有用感をもたせる

生活アンケート
2回目

継続事業の検証
次年度への手立て

「いじめは卑劣」
人権週間と関わりを持
たせて、生徒会主体で
の取組をさせる

「いじめられたとき、目
撃したときにすべきこと」
他者の存在を認め互い
を信頼し合い、協力し
あってより良い学校を創

「卒業・進級に向けて」
本校で良かったという実感をもたせる

「補充教室」勉強がわかることで自己有用感をもたせる

生活アンケート
2回目

継続事業の検証
次年度への手立て

「いじめは卑劣」
人権週間と関わりを持
たせて、生徒会主体で
の取組をさせる

「いじめられたとき、目
撃したときにすべきこと」
他者の存在を認め互い
を信頼し合い、協力し
あってより良い学校を創

「卒業・進級に向けて」
本校で良かったという実感をもたせる

「補充教室」勉強がわかることで自己有用感をもたせる

生活アンケート
2回目

継続事業の検証
次年度への手立て

「いじめは卑劣」
人権週間と関わりを持
たせて、生徒会主体で
の取組をさせる

「いじめられたとき、目
撃したときにすべきこと」
他者の存在を認め互い
を信頼し合い、協力し
あってより良い学校を創

「卒業・進級に向けて」
本校で良かったという実感をもたせる

「補充教室」勉強がわかることで自己有用感をもたせる

生活アンケート
2回目

継続事業の検証
次年度への手立て

「いじめは卑劣」
人権週間と関わりを持
たせて、生徒会主体で
の取組をさせる

「いじめられたとき、目
撃したときにすべきこと」
他者の存在を認め互い
を信頼し合い、協力し
あってより良い学校を創

「卒業・進級に向けて」
本校で良かったという実感をもたせる

「補充教室」勉強がわかることで自己有用感をもたせる

生活アンケート
2回目

継続事業の検証
次年度への手立て

「いじめは卑劣」
人権週間と関わりを持
たせて、生徒会主体で
の取組をさせる

「いじめられたとき、目
撃したときにすべきこと」
他者の存在を認め互い
を信頼し合い、協力し
あってより良い学校を創

「卒業・進級に向けて」
本校で良かったという実感をもたせる

「補充教室」勉強がわかることで自己有用感をもたせる

生活アンケート
2回目

継続事業の検証
次年度への手立て

「いじめは卑劣」
人権週間と関わりを持
たせて、生徒会主体で
の取組をさせる

「いじめられたとき、目
撃したときにすべきこと」
他者の存在を認め互い
を信頼し合い、協力し
あってより良い学校を創

「卒業・進級に向けて」
本校で良かったという実感をもたせる

「補充教室」勉強がわかることで自己有用感をもたせる

生活アンケート
2回目

継続事業の検証
次年度への手立て

「いじめは卑劣」
人権週間と関わりを持
たせて、生徒会主体で
の取組をさせる

「いじめられたとき、目
撃したときにすべきこと」
他者の存在を認め互い
を信頼し合い、協力し
あってより良い学校を創

「卒業・進級に向けて」
本校で良かったという実感をもたせる

「補充教室」勉強がわかることで自己有用感をもたせる

生活アンケート
2回目

継続事業の検証
次年度への手立て

「いじめは卑劣」
人権週間と関わりを持
たせて、生徒会主体で
の取組をさせる

「いじめられたとき、目
撃したときにすべきこと」
他者の存在を認め互い
を信頼し合い、協力し
あってより良い学校を創

「卒業・進級に向けて」
本校で良かったという実感をもたせる

「補充教室」勉強がわかることで自己有用感をもたせる

生活アンケート
2回目

継続事業の検証
次年度への手立て

「いじめは卑劣」
人権週間と関わりを持
たせて、生徒会主体で
の取組をさせる

「いじめられたとき、目
撃したときにすべきこと」
他者の存在を認め互い
を信頼し合い、協力し
あってより良い学校を創

「卒業・進級に向けて」
本校で良かったという実感をもたせる

「補充教室」勉強がわかることで自己有用感をもたせる

生活アンケート
2回目

継続事業の検証
次年度への手立て

「いじめは卑劣」
人権週間と関わりを持
たせて、生徒会主体で
の取組をさせる

「いじめられたとき、目
撃したときにすべきこと」
他者の存在を認め互い
を信頼し合い、協力し
あってより良い学校を創

「卒業・進級に向けて」
本校で良かったという実感をもたせる

「補充教室」勉強がわかることで自己有用感をもたせる

生活アンケート
2回目

継続事業の検証
次年度への手立て

「いじめは卑劣」
人権週間と関わりを持
たせて、生徒会主体で
の取組をさせる

「いじめられたとき、目
撃したときにすべきこと」
他者の存在を認め互い
を信頼し合い、協力し
あってより良い学校を創

「卒業・進級に向けて」
本校で良かったという実感をもたせる

「補充教室」勉強がわかることで自己有用感をもたせる

生活アンケート
2回目

継続事業の検証
次年度への手立て

「いじめは卑劣」
人権週間と関わりを持
たせて、生徒会主体で
の取組をさせる

「いじめられたとき、目
撃したときにすべきこと」
他者の存在を認め互い
を信頼し合い、協力し
あってより良い学校を創

「卒業・進級に向けて」
本校で良かったという実感をもた